

当連結会計年度業績

豊田通商グループの当連結会計年度の当期利益（親会社所有者帰属）は、前期比876億円増加の2,222億円となりました。

売上総利益

7,592億円
(前期比25.0%増)



主に自動車生産関連の取り扱い、及び自動車販売の増加等により、前期比1,516億円増加の7,592億円となりました。

当期利益（親会社所有者帰属）

2,222億円
(前期比65.1%増)



営業活動に係る利益の増加に加え、金属本部における関連会社の持分除外益及び持分法投資損益の増加等により、前期比876億円増加の2,222億円となりました。

株主資本

「株主資本」は、資本のうち、非支配持分を除く、「親会社の所有者に帰属する持分」を表しています。

1兆7,350億円

(前期末比18.1%増)



利益剰余金、在外営業活動体の換算差額の増加等により、株主資本は前期末比2,654億円増加の1兆7,350億円となりました。

ネット有利子負債、ネットDER^(※)

ネット有利子負債

1兆2,382億円

(前期末比24.6%増)

ネットDER

0.71倍

(前期末比0.03倍悪化)



ネット有利子負債は、前期末比2,448億円増加し、1兆2,382億円となりました。なお、ネットDERは0.71倍と前期末比0.03倍の悪化となりました。

※ネットDER=ネット有利子負債÷株主資本

2023年3月期業績予想について

2023年3月期の業績予想につきましては、当期利益（親会社所有者帰属）は2,100億円となる見込みです。

(単位：億円)

	2022年3月期実績	2023年3月期予想	増減
売上総利益	7,592	8,000	+408
営業活動に係る利益	2,941	3,100	+159
当期利益（親会社所有者帰属）	2,222	2,100	▲122
1株当たり配当金（年間）	160円	162円	+2円